

[クロチアニジン水和剤]

農林水産省登録 第21258号

性状: 類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性: 普通物

危険物: —

有効年限: 100ml 333 ml : 5年、6.7 l : 4年

包装: 100ml×60、333 ml×20、6.7 l

# ダントツ®フロアブル

有効成分: クロチアニジン ..... 20.0%

殺虫剤分類 4A



農薬ガイドの適用表内(\*)および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。  
本剤の最新情報: こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

## [適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	本剤の 使用回数*	クロチアニジン を含む農薬の 総使用回数*	使用方法
稲	イナゴ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネドロオウムシ	5000倍	60~150 l	7日前	3回	4回 (直播での は種時又 は移植時 までの処 理は1回、 本田での 散布、空 中散布、 無人航空 機散布は 合計3回)	散布
	ウンカ類 カメムシ類	1250倍	25 l				空中散布
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	90倍	3 l				無人航空機 による散布
	ウンカ類 カメムシ類	24倍	800 ml				無人航空機 による散布
湛水直播 水稲	イネミズゾウムシ キリウジガガンボ	原液	種もみ 3kg当り 75 ml	は種前	1回	4回 (は種時 までの処 理は1回、 本田での 散布、空 中散布、 無人航空 機散布は 合計3回)	塗沫処理
だ い ず	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2500~ 5000倍	100~300 l	7日前	3回	4回 (は種時 の土壌混 和は1回、 散布は3 回)	散布
	マメシクイガ ダイズクキタマバエ	2500倍					無人航空機 による散布
ばれいしょ	アブラムシ類	5000倍	100~300 l	30日前	3回	4回 (植付時 の土壌混 和は1回、 植付後 は3回)	散布
さとうきび	サトウキビチビアザミウマ カンシャコバネナガカメムシ イナゴ類 カンシャワタアブラムシ	2500~ 5000倍	100~300 l	30日前	3回	7回 (植付時 までの処 理は1回、 植付後 の薬剤の 処理は3 回、水和 剤の処理 は3回)	散布
	メイチュウ類	2500倍					無人航空機 による散布
	カンシャコバネナガカメムシ メイチュウ類	24倍					2.4 l



## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 長期間貯蔵しておくくと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。



## 安全使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
  - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。
- 稲に 1250 倍希釈で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- 塗沫処理で使用する場合には、薬剤処理後のもみに過酸化カルシウム剤を湿粉衣する。過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守る。
- 本剤を空中散布及び無人航空機散布による散布に使用する場合は次の注意を守る。
  - 各散布機種の散布基準に従って実施する。
  - 少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
  - 無人航空機による散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
  - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布置置に十分な点検を行う。
  - 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
  - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
  - 作業終了後は次の項目を守る。
    - ・ 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
    - ・ 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
  - 眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

## 〔品目特性〕

- 本剤は、空中散布、無人航空機散布用に開発された製剤です。
- 空中散布は微量散布、少量散布のいずれにも使用できます。
- 有効成分のクロチアニジン浸透移行性、残効性に優れ、安全性においても航空防除に適した成分です。
- 稲の斑点米カメムシ類に対して優れた防除効果があり、ウンカ類・ツマグロヨコバイにも高い効果があります。